落日のパトス
Rakujitsu no PATHOS
Presented by Tsuyatsuya
9
艶々
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS
落日のパトス
9
Presented by
Tsuyatsuya
ヤングチャンピオン
コミックス
COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS

落日のパトス 9

CONTENTS

[初出]
別冊ヤングチャンピオン
2019年10月号～
2020年4月号

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

【ここまでの「落日のパトス」は】

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

マンションの空き部屋で我を忘れ、快楽に溺れる仲井間の元に、藤原は偶然遭遇してしまう。暗闇で二人きり…。欲にまみれた男女を狂わせるには十分すぎる条件が揃うとともに、二人は濃厚に絡み合う。激しく昇天し交わりが解かれると、仲井間は藤原の初体験について切り込む…。結局、藤原は完全に童貞を脱せていなかったことが判明するが、仲井間はどこか嬉しそうに微笑むのだった。その夜の一件で風邪をひいてしまった仲井間を看病するという名目で藤原は後日にも仲井間との逢瀬を繰り返す…。

そんな中、急遽まさみの連載が決定する。まさみの抜けた穴を埋めるために藤原が助っ人として呼んだのは、旧友の末岡だった。まさみが「気をつけたほうがいい」と警告する末岡は生粋のチャラ男で、早速仲井間を夕食に誘いだし…!?

【人物紹介】

藤原 秋

Aki Fujiwara

漫画家の青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

仲井間 真

Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

神保まさみ

Masami Jinbo

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。現在は藤原の仕事を手伝うアシスタント。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。藤原のことを狙っている。

高杉ミツアキ

Mitsuaki Takasugi

藤原のもとで働く新人アシスタント。3次元の女性には全く興味のない童貞。要領が悪く不器用。神出鬼没で突然現れることが多い。

末岡カズヒデ

Kazuhide Matsuoka

藤原の大学時代の寮のルームメイトで女にモテるチャラい男。別名〝一休〟。自身のツイッターアカウント〝自由な一休〟のツイート内容がエグい。

エリ

Eri

末岡が出会い系アプリTenderで出会った24歳の人妻。とても陽気な性格で気が違える。高校時代に漫研に所属していたためアシスタントとしても大変有能。

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第59話
カズヒデって
そんなに
チャラかったの？

ピンポーン
……………
ハイハイハイ
そんな押さ…
ガチャ
――って
アキくん!?
あっ
えっと
ども
こんにちは

どうしたの……？
仕事中じゃないの？
い…いやあ…
ちょっとコンビニついでに…
その…
えっと
？
なあに？
あ いや その別に
問い詰めるとかそんなんじゃないんですよ
は？
いや ただちょっと
どうなんだろう…と
気になって…
です

あっあの…
カズヒデと
…さっき
話してました
…よね？

ああ
ベランダで
アキくんの
昔からの
友達なんだってね

面白い
ひとよね
おもしろい…
は…はー
そうっスか…
それで…
いっしょに
ゴハン行く
約束を…？
ああ

いつか そのうちね
——っていう 話は したかな
なんていうか …チャラいよねー あのひと
フフフ
すっごい グイグイで——……
んでちょっと めんどくさいんで
テキトーに いつかまた タイミング合えばーとか
ニヤ
ゴニョゴニョって ごまかしちゃった！
さーすがに ねェ——
初対面の ひとと いきなり ごはんとか
ないよねーー

で・す・よ
ねーーー
そんな
ねーーー
ん？

…なに
アキくん
わざわざ
確かめに
そのこと
わざわざ？
イヤ
イヤイヤ！
そんなわけ
ないし！
ハハ！

ガチャ
いや
失礼
しました
では
また！
がんばり
まっす！
では！
ハハッ
……
なんなの…

ただーいまっ
おかえんなさいっスー
おかえりー
おーカズヒデ
ガタ

いまそこでせん…
となりの…人と会ったんだけどさ
ゴハン行くって言ったのは社交辞令みたいだよ

——ほう
ってか
アキおとなりと仲良いの？
え

な…仲って
いうか…
え〜〜〜〜〜
まぁ…
それなりの
おつきあい
してるって
いうか…

アヤシイ
なァ〜〜〜
それだけ？
それだけか？
………

…まぁ…
ときどき…
ゴハンとか…
お酒くらいは…

えっなに？
付きあってんの？
つきっ…
バッ…バカ
そんなわけ
ないだろっ
単に近所
付き合いって
いうか…

なあんだ
じゃあ
オレが
誘っても
なにも問題
ないな!

えっ…
いやでも…
あのひと
既婚者だし…
カンケー
ないない!
それに
社交辞令
つっても
そこはホレ
押せば
いいんだよ

一応
そういう
返事するって
こたァ
へ…へー
ゼロでは
ないわけよ!
可能性は
あっちだって
ちょっと
その気
あんだよ!

そんで酒でも
飲めばさ!
意気投合
しちゃったり
して
…うん

いやあ
スタイル
いいよな
とくに
あのオッパ
…

ピンポンピンポンピンポ
ピンポ
ピンポーン
ピンポンピンポ
ピンポ
ガガガガガ
ドドド

ガチャ
…なんなの
いや あの
あの ですね
やっぱり…その 少々強引だとしても そこは
うん あのね
ちょっと 聞こえてた…

さっき 言ったよね？
そんな 初対面の ひとと食事 なんて…って
……っ

……
いや その
先生…けっこう…押しに弱いから
その…
ちょっと…心配と…いうか…ですね
…なんで?
え
どうしてアキくんは
そんなに…

・・・・・・あの男の人と
ゴハン
行かせたく
ないの？

えっと…
だから…
その…
心配で…

心配…って
なにが…？
どんな
ふうに…？

そっ…
そりゃ…
その…
………

あ…そう
カズヒデ
酒好きだから
一緒に行って
お酒飲んだり
したら…
えー
そんなコト
だけえ？
ニヤ
ニヤ
―だって
先生
酒グセ
悪いしッ
あ？
ほら
先生は
いつだって
飲むと
荒れたり
吐いたり
大あばれ
その上
なんとなく
エッチな
感じに
なっちゃったり
タチ悪いん
ですから！
そんな
先生が…
アイツと
一緒に飲みに
いったら…

もうもう どんなコトに なるか
危なっかしくって
もう そんなの…

フーン
そんなふうに 見てるんだ… 私のこと

じゃあ
前言撤回
へ

ズイ
行くことに したから
その カズヒデさん？ に伝えてくれる？
仕事 終わったら おとなりに 声かけて…って

は!? なんでそうなるんスか!?
聞いてました!? 僕の話
聞いてたから行くのよ
キィ
アキくんが言うような
だらしない女かどうか
それでわかるでしょ!?
いい? 必ず伝えてね!
せっ…
まあ言わなきゃこっちから行くけど!!
じゃあ仕事終わるの楽しみにしてるわッ
バタン!!
……

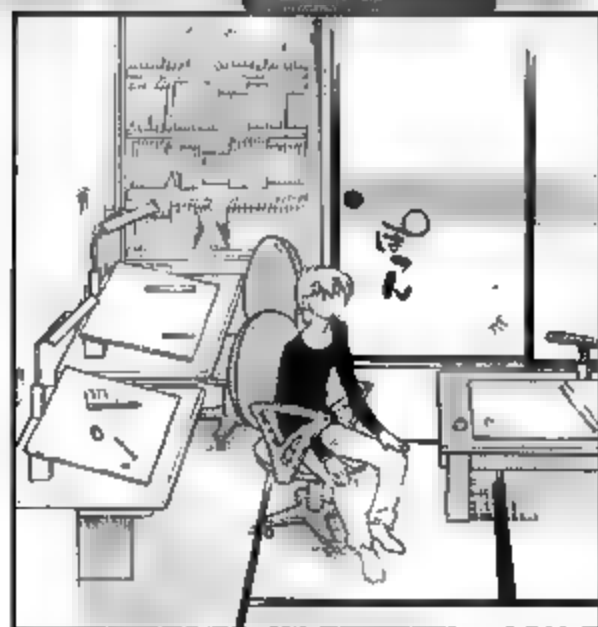
な…
なんで…
こうなるんだ

そして
ギャアギャア
ギャア
ギャア
カァ
カァ

夕方には
順調に仕事が
終わってしまい…
いやー!!
アキ
ありがとね!

わざわざ
おとなりさんに
話通して
くれるなんてな
——!
バン
いやあ…
ハハ…ハ…
そんな
つもりじゃ…
持つべきは
親友だなあ!

あの…さっきも言ったけど
一応既婚者なんだから…
くれぐれもその辺わきまえて…
なあーに言ってんだよ！
男と女はそこも踏まえてどうなるかわからないから
面白いんだろ!!
ハハハ大丈夫！
彼女に嫌な想いはさせねエからさ！
じゃあな！おつかれだ！
……
あう あう
バタン!
おつかれさまっスー
あ ミツアキくんまだいたの…
……
ひどい…
あ スイマセン見送りなんて…
いやいやおつかれさま

あ…
ぽーん
…………
僕と食事
行くときとか
あんなカッコ
したこと
ないのに

なんだろう…
この気分…
かつて味わったことのない…
この
足下がふっとなくなって
ハラから落ちていくような
喪失感……？
だいたい…カズヒデ…って
たしかにずっとチャラい印象はあったけど…
実際の女関係って
よく知らないいんだよな…

あんなコト言っても
実際はけっこう紳士的だったり
…とか
………
あ！
そうだ！
まさみちゃんなんか知ってるようなこと
一応ってなんだよ〜
よーく知ってんじゃーん
ハハハ
ん――
でも…
そんなコト…わざわざ聞くのもな…
………

あっもしもし
まさみちゃん!?
ごめんね
いきなり
仕事中だった？
あっそう？
よかった！
いや…
その大した
ことでは
ないんだけど…
その…
カズヒデの
ことでちょっと
気になって…
え
いや―…
とくに
なにも
ないんだけど
まさみちゃんの
言ってたコトも
気になるな
――…って
え――
フーン…
まあ
いいです
けどね――
大体なにが
あったか予想
つきますし…
えっ？
いやいや
そんな…なにも
…私が
センパイと
初めて
会ったころ
覚えて
ます？
え？
あー
漫研に入って
きたころ
だよね
そーそー
そのころ

私
あのころ
福岡の田舎から上京してきたばっかりで
まあ絵に描いたようなオタクの
カオもパンパンだったし
それ以外興味ありません的イモダサ娘だったわけですが
ソバカスだらけだったし
いや…そこまで…そんな…
でもそんなイモ娘に
よく声をかけてきたのが
あの末岡って先輩だったんですよ
カズヒデ20才
え…？
でもカズヒデってそんなには部室に出入りしてなかったよね

そうです
あのひと
いっつも部員が
いないときを
狙ってきてた
んです
そもそも
部員じゃ
なかったし
私も
同じで…
ほら意地の
悪いセンパイとか
いたし
あー…
それで昼前とか
授業のある
時間とかに
部室行ってたら
よく
あのひとと
出くわして
うん…
「あのひと」…
モヤッ
ただあんな
ダサイダサイ
私にも
すごく
優しかったん
ですよ
他にも女子は
いたけど
わけへだてなく
かわいがって
くれて…
うん…
うん…
モヤ
モヤ
モヤ

それでね
ある日
いっしょに
ゴハン
行こうって
なって
うん
もう
舞い上がっ
ちゃったん
でしょうね
東京の
オシャレな
お店だし…
もうすっかり
飲みすぎ
ちゃって…
案の定
すっかり
きもち
悪くなって
そしたら
まあ
おきまり
コース
ですよねー
で 今だから
話しちゃい
ますけどー
気がついたら
ラブホの
中だったん
ですよね…
…!!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第60話
まさみちゃん、そんなにチョロかったの？

ホテル…!?
やっ…
ちょ…
でも
気がついたら
……って
そんな…
あっ…
えーと
たしかに…
入るとき
ちょっと…
意識はあった
…かも

だってねー
もう
都会出てきて
そんなのって
ギッ
まるで
ドラマの中
みたいで――

ちょっと
我ながら
すごいなー…って
ドキドキ
テンション
ぐーんって
……

わからなくない
…わからなくは
ないが…！
あーでも
もうろうと
してたのは
ホントですよ
だから…
ベッドの上に
転がったとき
ほんと…
どうしよう！
って
ベッド!!

カズヒデけしからんな!!
まったく!
まだそのしょ…おぼこいまさみちゃんをそんなそんな

でも…さすがにチャラいだけあって
服とかね
脱がしていくのもなーんかうまいんですよねー…

ドン

こう…
会話しながら
いつの間にか
後ろに回って…
ゆっくり
ボタン
外していったり
して
ドクッ
ドクッ
うわ…
ドクッ
それで
――
うわー…
気がついたら
上半身
このハナシ…

下着だけになってたんですよ
このハナシ聞くの
けっこうつらい…!!

ビクッ
ほら
手をどけて…

わあ
肌白い
それに
思ったとおり おっぱい大きいんだ

僕が…知らなかっただけで…
カズヒデとまさみちゃんは
…そんなころから…

そんな…関係に…
えーと
すいませんちょっといい感じに言っちゃいましたかねーふふふ
センパイのおちこみがウレシイ

さあそしてそこからですよ
へ
あの男

わー
思ったとおり
ダッサイ
下着つけてるね
――

え…っ
そっ…
あっ ううん いいんだよ バカにしてるんじゃ なくて
そこが かわいいんだよ ——
なんていうの ほら
まだ都会に 毒されてない？
無垢って いうのかな
化粧もまだ ロクにできてない 感じとか

で……
できてない……です？
ふふっ
ほら自覚ないしー
でもね
そこがいいんだ
ちょっと
フクッと
してさ
ほっぺた
パンッパンで
ちょい
ブサで
ひと回りして
かわいいんだよ
ブサ…
だから
俺に
まかせて！

言ってみれば未だ未開拓の大陸を
俺が切り拓くっていうか
……
えっとね
正直今なら
それはそれで的確だし
だーいじょうぶ
怖くないよ
正直なひとだなーって思います
まずは…
ギシッ
女にならなきゃ…ね
ーうん…耐性だってあると思います
でもねあの時点での私には…
……いやーー

やっぱ今考えても
クズ野郎かなァ――

ガクッ
結局
私の掌底がいいトコ入っちゃったみたいで
倒れてる間に帰っちゃいました
……
しょう……てい…？
あっ　うち父親空手道場やってて――
…じゃじゃあまさみちゃんとカズヒデは…
アハハなにもないですよー ぅ
ただ…

あのひと…
たぶん
今も昔も
変わってない
ですよ
一休ってヤツは
純心なこころで
ゲスな行為を
まっすぐ行う
人間ですから
いっきゅう…？
あー
すいません
コレ
私のなかの
ヤツの呼び名
です
名前とか
言いたく
ないしー
私的な
蔑称とでも
いいましょうか
ツイッターで
〝自由な一休〟で
検索してみて
ください
けっこう
本音と
クズっぷりが
ダダ漏れて
ますよ
フフ
まあ…
アレですよ
？

おとなりさんと
なにもなければいいですね
………ッ
あー
アハハハハハ
でも私的にはあってもいいかな――…なんて
アハハハ
うんありがとう
いやいやがんばって……
うん…
じゃ…

そんな
ことが…
あったのも
ショック…
だけど…
でも
なにも
なかったんだ
……っ
いや！
充分
あったレベル
だけど…
あーいや
それより
今…
先生が…
そんなコトに
なってなければ

そうだ！ツイッターだ
なんだっけ
「自由な一休」…だったかな
バッ

あ
あった
これか？
自由な一休
@jiyu1kyu

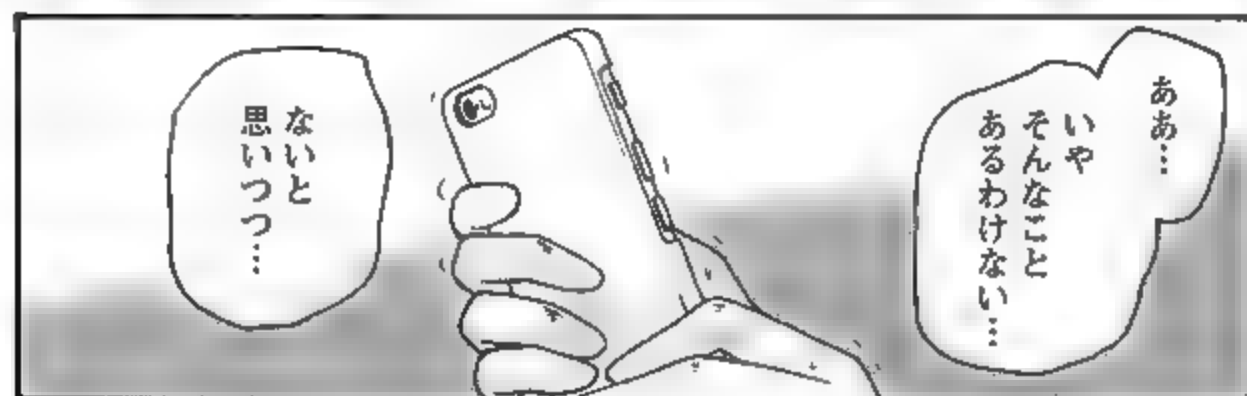
ボコニャン好きすぎて最近語尾に「ニャン」ってつけてマネをしてるんですが只のキモキモおじさんだった。
自由な一休 @jiyu1kyu
射精したあとに女性器に精子が付着してないかしっかり確認する夜の虎ー「膣チェックや！」
自由な一休 @jiyu1kyu
直筆の手紙がいちばん嬉しいと感じた時、マジで歳を重ねてきたなと思いました。
自由な一休 @jiyu1kyu
爆笑してオタクがコーヒー噴き出すのはテンプレですがスペルマ噴き出す風俗嬢の話は一切聞かないな
自由な一休 @jiyu1kyu
合コンの日は陰毛までキチンとDE
……
あいつ…こんなの…バカなの…？
こんなクソツイート垂れ流して…
あっでもときどきイイコトもかいてある
――！
あ…

ダンナ出張中でヒマしてる爆乳団地妻とお知り合いになれました☆マジ

昨夜知り合ったばかりのエロ爆乳団地妻と早速のお食事。
イケる気しかしない。カウパーお漏らし不可避！

まだ…　6時半だし…
こんな時間に　…ねぇ

PM 11:40
10/20 WED 23.5
……
どうする……
先生にメールするか…？
……
いやでもしかし…
返信のなかったときのダメージたるや…

ああ…　いやそんなことあるわけない…
ないと思いつつ…

カズヒデは
ムリヤリとか
絶対しない
…でもしっかり
その気で

先生ももし
まさみちゃん
みたいに
…流れで
流されて…

流れで
カズヒデと…

カズヒデ
と…!?

先生が!?

うわ
なんでだ僕
勃ってる
先生がだれかと
セックスしてるなんて
そんなの
イヤなのに…
うわ
イヤだ
そんな顔…
！
帰ってきた!?
先生!!

あ
アキくん……！
まだ起きてたの…？
……!?
なに…？
なに？その表情(カオ)…
……

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

その自覚がない状態で 服だけ無駄にこだわって みんな大好き絶対領域作って

醜い体を晒し歩き回っていた 恥知らずのあの頃…

見た目完全陰キャなのに メタル好きのフリして実は 裏では…なんてイキっていた 思い出すのも辛いあの頃…

マサミちゃん！ そこまで自分を卑下しないで!!

第61話
私もこんなザマだったの？
ギュ…
ふう…
……
ただ食事に行くだけなのにシャワーとか…
なんか意味深ぽくてアレだな…

うーん
これだと…ちょっとかわいすぎるかな…
ハァ…
こんな…ほぼ初対面の男の人と食事なんて
初めてだしなに着て行ったらいいやら

──だって
先生 酒グセ 悪いしッ
危なっかも くってでもう そんなの…
だいたい
アキくんが あんなこと 言うから…

相手が…
アキくんだから…じゃないの

…とはいえ
ちょっとキレる方向は…よくなかったな
てゅーか…
男の人と食事って
チラ
めんどくさい……
服とか化粧とか…
おめかしすんのも久しぶりすぎて…

あー…
そういうイミでは…
アキくんって楽だなァ…

いやいやいや！
これダメなやつだ
〝女〟を捨てかけてる！
パチン
そうよ…
そうよねだからたまにはいいんだ
こういうのも……さ
バサ
バサ

まだまだ
イケるんだから
私だって！
アラサーだし！
よし
これでいこう
そして…
帰ってきたら
見せつけて
やるわ…
アキくんに
オトナの私の
立ちふるまいをね
……！
フフ
ピンポーン
あ！
はーーい！
どおもーー
僕でエース
バタバタ
はいはい！
いますぐ
いきまーす！
あっ
そんな…
ゆっくりで

そば うどん
かぶや
そいじゃあ2人の出会いに！
カンパーイ
か…かんぱーい
煮たまご 100円
ピリ辛ごぼう 380円
ぷりあつエビセン 360円
タコの刺身 560円
とりせせりガーリック 580円
モツ煮 480円
ガチーン

いや
都心のちょっと
いいレストランとかも
考えたんすけど
僕
こーいう
気どらない
雰囲気の店も
好きなんだよねー

あー
わかりますー
私も気どった
トコより
こういう店の
ほうがー
ザワ
ザワ
あっ
でしょでしょ?

――っていうか

ここ…
アキくんと
何度か
来た店だな…
ぷはー
いやあ
しかし
うれしいなァ
まだ会って
1日目
だってのに

こうして2人で食事してくれるっていうんだから
大胆っていうかサバサバしてるっていうかー
あーいやー
やっぱそれは
キュッ
人妻のヨユーってやつなのかなあー
あーいや……ハハハ
？
なに？どゆイミ？
そんなことは……ハハハー
ぜんっぜんわかんないんだけど
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
おーっいくねえ！
パチ
パチ
お酒強いんだ？

あ
おつまみどうしよ〜やきとり食べる〜?
あ ハイ
あっおにいさん注文ね
ワイ
串盛り合わせを2本ずつでー
ザワ
ザワ
ザワ
ホッピー
はーい
あとはサーモンとアボカドのカルパッチョにー
やみつきキュウリもー
ワイ
あ…ハイボールひとつ…
はーい
手慣れてる…
えっとなにたべます?
ごはんがっつり?あっかるめので?
あ、でもこれもいいなー
うぁーまようー
アキくんと全然ちがう…
なるはやでー
へーい
でさーまことさん…だっけ
ハ
ええ
結婚してどれぐらいなのー?
えっと…2年…かな?
へえー
じゃあまだ新婚さんみたいなもんじゃん
いやーもうすっかり落ち着いてますよ
またまたー
ザワ
ザワ

パートとかは？
いやーとくに…
ハイボールでーす
あっじゃあダンナさん稼いでるんだ？
ビーキー

うーんフツーかなぁー
習いごととかは？
無趣味だしねー
あ空グラスおねがいしまーす
えーそんな風に見えないいな
そおかなー？

だってほらまだそんな学生さんみたいな若さで
全然イケてる感じなのに
おうちの中だけの世界なんて
もったいないじゃん？

……
ゴク ゴク ゴクッ
ありがとうございますー
ぷはーっ
ああなんだろう…
いやだって結婚してるって聞いて
ひっくりしたもん！

すっごい無為な時間
あーそう？
主婦にはみえないなー
過ごしてる気がする…
ザワ
あ、オレもハイボール
わーそっかー
それって褒められてんのかなんなんだろー
ヘーイ
わははは
褒めてるよー
ザワ

正直――
あー
アボカドって
ショーユかけると
マグロになるん
でしたっけ？
意地張って
こんなこと
してるなら
は？

アキくんと
ゴハン
食べてた方が
よかったな

ありがとう
ございました
――！
いやぁー
まことさん…
純米・辛

飲むねぇ…
へっ
やだ そんなには……
いやいやいやいや
ボトルで頼んだのがもう空だし…
その前にハイボール…何杯…
何杯だっけ…
えっと…5杯くらいかな
すごいな―…
相手に興味ないとこんなにも酔わないものか…
すいません うち今日は11時閉店で…
あ ハイ じゃあ お会計を
いやっ いやいや まこっさん!
ここはオレが!

ありがとうございました
いやでもあなた…もう
さっきから目が開いてないし…
だいじょぶっ！
大丈夫だから…
オレがっ

いやぁしかし
まこっさん…つよいね…
大丈夫？
フラ
フラ

オレも相当…酒でイワしてきた…男っスけど
あんたっていう女は…っ
ハハハハハ
ハハハハハ
……
目があいてない…

―…
まこっさん…

え…
はい？
こうして今日…つきあってくれたのは
ほんとは…
アキの…
え…

アキのこと
なにか…
な…なにか……って
べつに…
──る
る?

は・・
だっ…大丈夫…!?
はっ
はっ　はは
なあに
これくらい
出せばもう

ふぁあああああぁあああ
バシャ
バシャ
パシャ
キラ
キラ
あああああああ
バシャ
バシャ
パシャ
キラ
バシャ
ほら…
水を…
はっ
はっ
はぁ…
かたじけ
ない…
うう…
う
あれ…？
この
光景って
昔…

そうだ アキくんと はじめて 2人で 飲んだ日…
あのときの 私…!!

うわあ そうか…

ちょっと 哀れで でも どうしようも なくて
さっきまで このひとが 楽しそうだったぶん
なんだか 悲しくて

アキくんにも
あのときの わたし

あ――……

そう思うとわりと

アキくんの言ってたのも間違いじゃないのか

あんな姿をみてたからこそ…

お？

やば…

なんか今になって回ってきたかな……

アタマ痛いし…

ああなんだか

でも帰って…

シャワーあびて

寝ちゃえば…

先生・・・ッ!!
あ・・・アキくんまだ・・・
起きてたの・・・？
あ・・・
やだ・・・なんか
ヤァ・

アキくんのカオみたら
?
先生?
なんか安心しちゃって…

る?
だからね
る

ほんと
私
へるぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
あっ
あああ
センセイ
先生
アキくんの前だと
全部晒けだしちゃうの

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

先生…っ大丈夫ですか!?
う…うん…
は…

アキくんにはこんなトコばっかり…

そんなのいいですから…

僕そっちの趣味はないですけど
理解はあるので!
安心してください!!
何の話…?

第62話
スイッチはいるの
急すぎませんか？

せっ先生…っ
大丈夫ですか…!?
う…うん…
はっ
なんか…もう…
はっ
アキくんにはこんなトコばっかり…
いやっそんなのいいですから…
とりあえず中へ…!

あっあの…
気持ち悪かったらもう全部出しちゃったほうが…
ん…
ううんいい…
けど
少し服に…
汚しちゃった…
あ…えっ…えっとじゃあ…
ドキドキ
ぬっ…
脱ぎ…ますか…?
ドキ

――うん…
早く流さないと
……シミになっちゃう
じゃ…じゃあ…
えっと…じゃあ
まず…
ん
!
ばるっ
んっ

みちゃ
だめよう…
アキくん…
あっ
いや…
そりゃ…
えっと…
……
——…
……
…ッ
あの…
せんせい…

え…？

その…服…脱ぐのは
今日何回目…ですか？

いや…その…そりゃ…先生が…
決めたなら
別に…僕が
どうこうゆうことじゃないし…

でも…っ
はー、
はぁ
そう…
あいつと…そんなコトになってるなら…
はっ
はー
はぁ
はー
なんか…
はー
なんだろうっ…
僕
はっ
はー
僕は…っ

あれええええ・・・
ぽろ
ぽろ
ぽろ
ぽろ

あれえ…
なんだ…？
僕
ぽろ
ぽろ
なんでっ
なにを泣いて…

ぎゅう
なによ
アキくん
私が
あのカレと
どうにか
なってるって
思ったの
……？

たしかに
アキくんの
いうとおり
いっつも…
私
お酒飲むと
わやくちゃに
なっちゃうし
……
…まァ
心配するの
わかるけど…
でもね
わかったの

私がお酒でそうなるの
アキくんといるときだけみたい
だから…そんなコト…
ならないし……大丈夫だよ…
でも…アキくんがそんなに心配してるなんて…
……?
え…
え?

ごめんね
え
ちゅ

えっ!?
アキくん…

なんだ?
キス?
……!
キス
された!!
いえ…っ
ぼ…
僕こそ
僕の方
だって…
自分で
ダメって
言ってたのに…
ごめんなさい…っ

勝手に…
勘違い
して…
こんな…
みっともない
しかも…
先生が
あいつと
してるのかも
って
妄想まで…
しちゃって…
……
妄想して…
想像して…
アキくん
勃起
してたでしょ
!?

なっ…
なんでっ
そこまで
ふふ
知ってるよ
私
「ネトラレ」って
言うんだよね
どーせ
アキくんは
また私を
そんなふうに
オカズに
して…
ここを
おっきく
してたんだ…?
!!
グッ

あら いまも こんな？
なんで…？
だって 先生…
ブラひとつで 僕の背中に
あ
さっきまで 泣いてた くせに…っ
あ、
は
先生っ どっ…なにっ

私はね…
アキくんと
いるときだけ
あ
おかしく
なっちゃうんだ
……って
あっ
いく!?
さっきゲロ
吐いてた
くせに
いつスイッチ
入ったの!?
うあうあうあうあうあっ
イクの!?
アキくん
あっ
あ
イっちゃうの!?
ああ…
ほんとに
先生は

「酒」と「僕」で…
おかしくなっちゃうんだ…
あああああああ…
!
カラ
カラ
ガラ
あっ…

お…おはよう
おはようございます…
シャツ…洗いました？
あっうん！もう平気！
きっ…昨日のうちに
なによりです…
……
きまずい…
……
でもなんていうか　エッチなことはともかく
なんで泣いたんだろう僕…
それじゃーまた…
あうんまたね
僕って…

パタン
ひょっとして…
先生のことが
好きなのか…な
いやもちろん
いままでだって
好きだから
こうしてた
けど…
なんていうか
こう…
こう…
本当の…

え？
まさみちゃん
……？
はーい
もしもし？
うん
お久しぶり
だねー
あの…
センパイ
すいません…
ちょっと…
助けて
ほしくて
え？

第63話
どっから夢に
なってたの？

いや…第1話が増ページで
ちょっと手こずったってのもあるんですけどー
燃えつきて2日ほど寝まくったら
もう2話目描かなきゃで
余裕のないまま3話目で
うん
あーあーわかるー
気がつけばもう…
ギリギリで
1本終わったらすぐ次なんだよねほんとに
息つく間もなくっていうかー
そうなんです!
いやーセンパイってなんだかんだ
遅れることなくやってて…

改めてすごいなーって思いますよ・・
いやーハハハ
そんなあー
にゃははー
それもまさみちゃんという有能なスタッフがいたからさあ
エヘヘー
カリ
カリ
そこで
そこでなんですけどね
実は今ここまで私一人で描いてるんですけどー
その…今回だけちょっとアシスタントを貸していただけないかと…
あ
あーそゆこと！
いいよー！
…！
いいけど……
その…どっちにする……？

それですよね
……
センハイとしてはどっちが…
どっちでも僕は大丈夫だけど…

能力としては…
ミツアキくん
画力
速さ
気遣い
パシリ
相性（まさみちゃんとの）
画力
速さ
気遣い
ウィットな会話
相性
カズヒデ
こんな感じかなー

……
……
相性としては2人とも……ね
仕事第一ですからいっきゅ…
カズヒデさんですかねー
そうだねそうなるよね――（笑）
イラっき、そうだけど…

じゃあ
カズヒデに
頼んでおくよ
わーほんと
すいません〜
ありがとう
ございます
〜〜〜〜〜〜
いえいえー
でもセンパイ
のほう…
いいんですか
……？
ハハハ
大丈夫
だよーう
これでも
もう半年以上
やってんだし！
ノウハウも
わかって
きたからさ
そっかー
さすが！
じゃあ
お互い
頑張ろうね！
はい！
よおし
じゃあ僕も
ちゃちゃっと
やるかー

一週間後

やばい……
ぜんっぜん
間に合ってない
……！

なぜ…
なぜいけると
思った…？
僕……
プル
プル
プル
思い返せば
連載当初
から
手練のまさみちゃんが
いてくれて
……
ぶっちゃけ
僕より
絵うまい
それからは
入れ替わりで
能力の高い
カズヒデに
なって…
女にはだらしないが
仕事はできる

下描き出来ました
センセー見てください
あハイ
…これ消失点は
あーどこだかわかんなくなっちゃったっスへへー
じゃあどうやって…
あーでもこんな感じでいいかなーって
んーとんーと
ええとつまりミツアキくんじゃヤバイっス
じゃあこの線はなんの線?
…えーとなんでしょう
……
うん!描き直しかな!
…ハイっス
こうしてここを中心に
……
こう…
モタ
モタ
モタ
あれー?
ドクン
ドクン
ヤバイっス!!
一人の力で出来てたんじゃなかった…!
助けられていたんだ…!
なにがノウハウだ!
なぜカズヒデを行かせた!!
あのときの僕を殴ってやりたい…!
間に合わないよ!!

助けて…！
だれか…！
うっ
うっ
でも…もう
アシスタントの
アテなんて…

アテなんて
……
……！

いた!!
ミツアキ
くん！
はっ⁉
はい？
こっ…
この前
来たあの…
えっと…
なんつったっけ…
えーと…
アプリで
知り合った
っていう…

そう…エリ！エリさん！
あの人の連絡先わかるよね!?
ちーす
24才既婚港寺出身
え〜〜〜〜あの女っスか〜〜〜〜〜？
まぁわかるっスけど〜〜〜〜
お手伝い頼んでくれるかな!?

あんな女僕の五分の一も役に立たないっスよ
あっこわいっ
わかったっス連絡するっス！
センセーそんなヤオ…するっスか

とにかく…あの子…あの子なら……
あーもしもし
いきなりすいませんっスじつはーマンガのてつだいを
…まだ…コイツよりまし…

きっ…今日の夜からでも大丈夫ですって
まじ!?
ガタッ
ぜひ!
じゃあもうぜひお願いしますと…!

あっそれじゃー――ハイハイ9時に!
はい待ってますっスー
…よかった…
ギッ

あの子の能力なら…少なくともミツアキくんよりははるかに…うん.
きっと…

じゃあ…彼女来たらまた指示とか出さなきゃだし…
それまで少し仮眠するよ
わかりました!

僕がその間にしっかり進めておくっスから!
あーうんキタイしてるね――
棒

はー…これで少し心安らかに眠れる…
久しぶりにこんな…
徹夜続きの仕事を…
あーおフトンおフトン
…ん!?
あ…玄関…?
なんだろ玄関は閉めてたはずなのに…
え?こっちに入って…

センパイ！
ほんと
すいません
私のせいで
……！
え？
まさみ
ちゃん…!?
なんで…？
原稿は…
あっ
そのままで
いいです
から！
休んでて
ください！
ギ
だって…
ミツアキ
だけで
センパイ
絶対間に
合うわけ
ないし…

でも
私のために
………
それでも
なんとかして
くれようと…
私嬉しくって
………
そんなこと
………
だから…
せめて…
センパイの
ために…
マッサージでも
してあげよう
かなっ…って!!
ぎゅっ
お

どうですかあ？
ああ…
すごい気持ちいいよー
フフフ こってますねー

そ…
そうだっけ…？
グッ
そうです
よう…
それで
グイ
ギュ
ギュ
グイ
ギュ
センパイは
いっつも
そのまま…
フフフ
そのまま…
なんだっけ
………
ほーら
じゃあ
上向いて
転がって
くださーい
ゴロン
はーい

えっ……

えっ
えっ
いつの間に…ッ
——って
いや なんで 下着…
やだ センパイ…
マッサージの時は いっつも
こうでしょ…？
ス…ッ
いつもこんなは

ほんと…ふふ センパイってば エッチなん だから…
あ… だめだよ まさみ ちゃん…っ
でも わかりますよ こういうの 大好きですよね…
隣に ミツアキ くんが…っ
チロ
あっ…
でも
ふふ もちろん 私だって
は
は
こういうの いやじゃ ないんですけどね♡

ほら
センパイ
こっちも…
あ
おあ
よーく
マッサージ
しましょうね
う…あッ
あっ
おあ
すっ
あっ
あ

だめ…
そんな
触られたら…
でっ
でる…っ
でっ…
あ

フフ…
フフフフ…
シームレスすぎんだよ！
夢と現実がよォ!!
ボッ
どこから夢になったんだよ！
そんな一瞬で寝てたのかッ
僕はッ
……
うう…パンツ替えなきゃ……
なんだかごめんよまさみちゃん…

さて
ミツアキくんに
気取られない
ように…
洗濯機に
パンツを…
スススス…
スヤ〜ooo
ZZZZ…
一コマもできて
ねえ…！
ウソでしょ!?
ZZZZZZ
こいつ…
ヤバイ
ホントに
つかえねェ
スヤ〜ooo
天使みたいな
寝顔
しやがって
あ
そうだ
彼女は
どうしたん
だろ？
もう
来てても
いいくらい
なのに

たしか9時って…
うわ
もう11時!?
いくらなんでも遅いな
途中でなにかあったか…
まさかとは思うけど…バックレ…
ピンポーン
あ
いや――
9時頃来たんスけどー
なーんか応答なくってー
ひょっとして寝てるかな――って
ミッツにLIME入れたけど
返信なくてー
ああああ…
ごめんよごめんよ
ミツアキ……!!

でもお隣のねーさんに部屋入れてもらつて
すげー楽しかつたんで大丈夫つスよー

え…っ
となり…って…

うふふー
あの人かわいいつスね——年上だけどー
なんの話を…
うふふふーそりゃー女同士の秘密つス!
えっ
えっ
おっ…女同士の…ってなに!?
なにっ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第64話
この使い方は
正しいの？

ふう

よっ…と
みなさまで
入居者以外
ドサッ

アキくんと
もう一週間以上
話してないなァ…

なんか
ベランダでも
ローカでも
全然会わないし

だいぶ忙しい…
あ
あっ…
おはようございます
お…おはよう…
…って
ひょっとして…寝てない……？
いやあ…
寝たり起きたりしてますよぉ
ただ いつ寝たかもう覚えてないだけで…
アハハハハハハ
……
ハハハハハハ
こわい

じゃあ僕は買い物の旅に出てきますから!
あ…うん いってらっしゃい
ビシ

フフ…フフフン
フフフン
つかれている…

忙しいんだなー

…この前のこと話したかったんだけど…
ちょっと今はムリか…

なんで泣いたのか……とか
……

…あのときのアキくんはかわいかったな
ポフッ
さっきはなんか目がすわっちゃってたけど…
……
だからって……なに…
キスとか…
私…
なにを…
くっ…
悶絶
うううう
言い訳を……ッ
言い訳をさせてくれええ…
うう…
会話を……!
会話の機会を……!

まあ…仕事が終わるまで
まともにお話もできないなー
ダンナはまた出張中
あの感じじゃあ…
ピンポーン
ピンポーン
ピンポーン
ん？
アキくんとこにお客…？
こんな時間に…
ピンポーン
ピンポーン
おかしいな…たぶんいるハズだけど…
出ていく余裕なんてないハズ…
ピンポーン

グオオオ…
グゴオオオ…
スピィィ…
あー…
グオオオ…
ピンポーン
こりゃあ…寝てるな
いびきの音が…
ピンポーン ピンポーン
呼び鈴の音も聞こえないか…

……
ピンポーン
ピンポーン

ガチャ
あのー…
おとなりのものですが…

えっ
えっ
女の人!?

あっ…あの
えっと…
アキく…
なに
こんな時間に
女性がなぜ
しかも
藤原くんのお部屋に…
御用でした？
わー 先生のお知り合いっスか??
たすかった一!!
こんなオッパイ丸出しのハデな
ココにお仕事で呼ばれてたんスけど反応なくって一!!
先生!?
先生…って
あ…
ひょっとして
マンガのお手伝い…!?
そうっスー
今日から急にたのまれて来たんスけどー
あー
この喋り方
聞き覚えある…
そうか…
この前来てた子か…
あー
んーとねー

たぶん…寝てると思うんで…
とりあえずウチでお茶でも飲んで待ちます…?
えっ
えっ
いいんスか!?
それじゃおじゃまします!

はー
そんなに先生疲れてたっスかー
なにがあったか知らないけど
なんか大変みたいよー

それにしてもねーさんは一人暮らしっスか?
ううん結婚してるよ
でもダンナさんは出張ばっかりで…
へー!エリも結婚してるっスよ
えー!!

しっかし…
となりのイビキが
聞こえるほどの
カベって…
すごいっスね
あ～
ね～
ゴゴゴゴ
グオオオ
グオオオ

それにしたって
これだと…
ダンナさんとの
夜の営みも
丸聞こえに
なっちゃわない
っスか!?

はっ…
なっ…
核心!!
いや…でも
その…うん
うち…もう
…すっかり
ほら…
？

うん…
れ…レス
だから…っ
大丈夫
なの…
おお…！
せっくすれす…

でも…
ねーさん…
まだそんな…
女盛りの
身体で…
もったいない…
えっ
あ…
う～ん…

そっか～…
なるほど…
そうすっと
一人で処理っスか…

は
処理…？

オナニーつスよぅ
いやーまぁねオナニーでもしないと
自分の中の女がどんどんしぼんでいくっスからねー
大切なコトっスよね
いやちょ…
そんな私べつに…っ
えっ？
しないんスか⁉全然⁉
えっ…つ…と
そりゃ…

たま…には
そりゃー…ねェ
あー
ねー♡
なんなんだ
このコは

いいじゃ
ないスかー
人妻同士
だしー
こういう話
できる相手
ってのも少ないし

ん…
ま…
まあねー

んでアレっスか？
ねーさんは
ナチュラル派？
それとも
道具派
っスか？

!?
は…

ナチュラル……？
てか道具ってなんの…
あっナチュラルってのは手ッすー
そのまま手マンってことでー
それかオモチャ系か
ねーさんはどっちかな〜〜〜って
うふふ〜
てまん？おもちゃ…？……？
あっそっか
ねーさんそーいうの知らない系のヒトなんスね
そっかそっかー！
なんか年上だけどかわいいっスねー
ねーさん

……
かわいいと
いわれてても
エリはカレシが道具使うの大好きでー
いっつも使うからーー!
もーもー
おかげでエリまで道具使うの当たり前になっちゃってー
うふふー
んでその道具…おもちゃ?って
具体的にどういう…
。
いろいろっス
いろいろ
やっぱ定番のピンローから
ディルドとかー
パールとかもあるっスけどー
でもやっぱ
?
?

一人での
定番は
安定の
電マっスね
でっ…
でんまっ!
あ ちょうど
カレシン家から
もって帰って
くるとこで
今
あるんだー
ほら
これー!!
さっきから
ちょくちょく
出てくる
カレシとは…
ダンナ
いるって
いってたよね…

あ…ああ
マッサージ機！
これのこと～
そー！
家電屋さん
でも
売ってる
これが…
これで…
またまたァ
ーー！
これフツーに
家電屋さんで
売ってるじゃーん
だからそー
ゆってるしー
これを…
どう使うわけ？
ハハッ
んー…
そうっス
ねー…
……
ねーさん
これ貸して
あげるっス

えっ？
いや
そんな…っ
いいから
いいから
エリ
もう一個
あるし
あるんかい
夢になった
んだよ！
あ
起きたっス
ね！
じゃあ
・・
それ
いろんなトコ
当てたりして
試して
下さいっス
えー
でもー
きっと
ねーさん
少し
楽しく
なるっスよ
そいじゃー
ありがと
でしたー！

いろんなとこに…か
フッ
まあねー
そりゃーマッサージ機だしー
グ…ッ
気持ちいいのはいいだろうけどさー
あーふふふ
…おっぱいとか…？（笑）
ス。
……

ヴォ
ヴォォ
ヴォォ

なに
これ
(笑)とかじゃないっての!!
……
これは…

こわい…!!
でも
ひ
いっ
もっと…
・・・したくなる…
は…
あ…!
……っ
あっ
これが…
……

これが…道具を
文明を使ったオナニー…ッッ
はっ
んふっ
うっ
ヴヴヴヴ
はぁ
はぁ
ゴッ
ずっ…

私〝文明〟を覚えて

股間にあてたら…ッ

一体…ッ

サルになっちゃうかもしれない…!!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

ピンクローターとか
ディルドとかパールとかいろいろあるっスよ～
いろいろねぇ……

名前言われてもさっぱりわかんないや…
検索っと
でいるど…
どれどれ……

何…!? アレ…
怖
ガタ
ガタ
ガタ

第65話
〝堕ちる〟ってこういうことなの？

うあうッ
はっ!?
なに!?
なになに!?

今のは
先生の声
だよね？
──っスね
なにか
あったのかな…
いやー
たぶん
大丈夫っスよ
？
さっきまで
一緒だったから
なんとなく
わかるっス
たぶん
心配しなくても
平気っス
へ…へえ
そ…それなら
…いいけど
カリ
カリ
カリ
カリ
……
ねぇ
なに？
なにが
わかるの？
ねぇねぇ
なんで？
ふふふー

……ッ
ガク
ガクガク
ガクガク
ゴロン…

ほっ
ほんの少し…
スカートの上から当てただけなのに…
あんなっ
あんなに…
ふる
ふる
ふる
ふる
あんなダイレクトに響くモノ!?
思わず声出ちゃっ疋…
ふる

ああ…
もっと…
この先を…
もっと…
強く…
当ててみたい……！
でも…
ヨロ…

さ・っ・き・の・声・だってヤバかったのに…
きこえてたよね…
どう思ったんだろう…
とはいえ声出さない自信もないから…
今はこれ以上…
……
…でも…！

でも
でも
でもでもでもでも
したい…!!

今すぐしたい！

なにか…いい方法…
タオルくわえて…？それもなぁ…
イライラ…
そうだ…！下の空室…！
ハッ
…は催気がきてないか…
う…うぅ
ダメだと思うと余計に…
ああ…

ガラッ
そうよ…ここなら……!!
向こうまで聞こえないハズ……!

あ…コード
…は洗面台のコンセントからとればいいか
ドアのスキマから通せばいいでしょ
……
一応
スカートも…脱いで…
シュル…ッ

カチ…
よし…！
カリ
カリ
カリ
カリ

……静かっすねェ
あ
そういやラジオもつけてないや
つけよっか？
あーいえいえ
そうじゃなくて…
なくて？
?
意外と静かだなァって
あーこのマンションもうほとんど住んでないから
はぁー
この階はうちとおとなりだけだしねー
403
仲井間

…お…じお
…つい

あああああ゛あ゛あ゛あ゛あ゛
ヴヴヴヴヴヴヴ
ガクガク

い…くう
ぎッ…
ひッ
あっ
うぐう…!!
まっ
まあー
……ッ

イッたのに
はっ
まだ
もっと
もっと
もっと
まだ
はっ
ヴヴヴヴヴ
ヴヴ
あっ
まだ
ヴヴヴヴヴヴヴ
あっ♥
まだ…ッ
あっ
ヴヴ
あぁ♥

あーっ
そうだ
お風呂場でしたといえば
教師になりたての頃に
シャワーですごく
あっ
まだ
まだくるっ

あのときも
パワーのある
シャワーヘッドで
気絶する
ぐらい
気持ちよくて
おなじ…

同じだ
もう
ちくびも
アソコも
まるで
とんがって

伸びていく
みたいな
ああ
また
ああ
あっ
くるっ
あ
またっ

ああああぁ
うああああぁ
はぁ
あ…
あ？
はぁ

お…おしっこ
でちゃってる
ぜんぜん…
わかんなかった
あ……
あ…あ
だめだ…
ほんと
これ…
はっ
だめになる…
はぁ

これじゃ
まるで
動物…
はっ
ふぁ
ううん…
はっ
…それ以下だよ…
はっ
は
はぁ
こんなの…ダンナさんにも見せられない…
はっ
はっ
……
はぁ
——じゃあ……

アキくんなら
こんなわたし
見て

ひょっとして
喜んじゃう
のかな…

こんな

だらしなくて
エッチな
わたし

『落日のパトス』第⑨巻／完

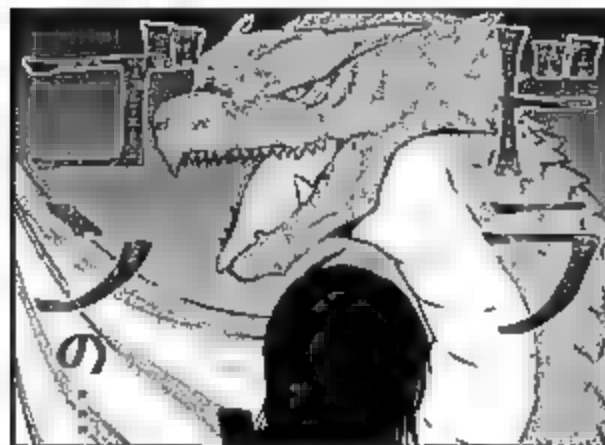
RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

うわ……すご……
ドキ
ドキ
おもちゃのクオリティじゃないじゃないの……

え…待って……こんなデカ……いや……
よく見たら……コレ…

エリちゃんはドラゴンとシたの……？
はあ？

あとがき

9巻です。最長不倒距離更新中です。ありがとうございます！
8〜9巻あたりで「黄昏のエトス」というスピンオフを連載しました。
まことの若い頃を描いた話ですが!! 作者としてはよりまことへの愛着が増すことになりました。そちらもぜひ一緒に楽しんで頂ければ。

2020.4.10

RAKUJITSU-NO-PATHOS 次巻予告
エリに頼まれて仲井間宅を訪れた藤原。
そこには弱り果てた仲井間が…!?
あん
なんだこれ
ひんっス
先生が
先生がいつもより
ひ
禁断の隣人愛欲物語。

その身体はいつも以上に過敏で、艶っぽく…。
なんだか艶っぽい!!
や…
そして藤原は目撃してしまう。
仲井間の衰弱の真相を…。
淫靡で歪んだ嗜みを…。
二人の交情はとどまるところを知らず、
更なる極致へ――。
止まらぬ背徳の連鎖…。
『落日のパトス』最新第10巻を乞うご期待。

はっ
ギシッ
はっ
えっ?
モデル?
女子便所
あ
ああ…
あ……
あ……
あっ
ギシッ
ヌチュ
グチュッ
グチュッ
ギシッ

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日のパトス⑨

2020年6月25日　初版発行

著　者　艶々

発行者　石井健太朗

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座 00130-0-99353

印刷所　三報社印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14079-9

デジタル版　2020年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com